



写真提供：フォトクリエイト



バトントワーリングの
北海道支部大会で1位

土谷 茉叶さん

つちや・まかな
大曲東小学校3年。
5歳の時、母親の勧めでバトントワーリングを始めた。令和7年12月26日に開催された第7回全日本バトントワーリングジュニア選手権北海道支部大会で女子U-9部門で1位となり、全国大会へ出場する。

初めて挑戦した大会で1位に

令和7年12月26日に第7回全日本バトントワーリングジュニア選手権北海道支部大会が開催された。バトントワーリングとは、棒状のバトン音楽に合わせて空中に投げたり腕の上などで回したりしながら演技をするスポーツだ。土谷さんは今回初めて出場し、北海道支部大会でソルトワール女子U-9部門の1位に輝いた。「とても緊張しましたが、笑顔できれいに踊ろうと思いました。踊り終わったときは自分の演技に自信が持てなかったけれど、1位に選ばれてとてもうれしかったです」と振り返る。

バトンで表現する楽しさ

バトントワーリングを始めたのは5歳の時。このスポーツで柔軟性をなどを高めることでさまざまなスポーツの基礎になると母親が考え、勧めたことがきっかけだ。現在は週6回札幌で活動するバトンサークルに通い練習に励んでいる。

バトンを使った練習だけでなく、バレエのレッスンやマット運動などを通して体の使い方を学ぶなど、練習方法は多岐に渡る。「バトンを高く投げ上げてキャッチする時、顔に当たってけがをしたことがありました。

緊張しないで焦らず踊りたい

練習が少し怖くなりましたが、それでもたくさん練習してきました」と話す。

練習がづらいと感じることもあるが楽しさや達成感も感じている。「バトンをしていてうれしい時は、みんなの前で表現して、たくさん拍手をもらったり、技が初めて成功した時です」とやりがいを語ってくれた。

次の大会に向けて

3月28日・29日に大阪府大阪市で開催される全国大会に向け、練習も大詰めを迎えている。衣装も新調し、生地や飾りは土谷さんが選んだそう。色合いや大きなストーンの輝きがお気に入りだと、笑顔で話してくれた。「これからももっと練習を続け、全国大会に向けてレベルを上げ、少しでも良い結果になるようにしたいです。あまり緊張せず焦らないで踊りたいです」と抱負を語ってくれた。練習を重ね努力してきた土谷さんが、全国大会で実力を発揮できるように願っている。



全国大会に向けて新調した、衣装を身にまとう土谷さん